石川県立図書館報
いしかわ

No.300
（平成 22 年 6 月）

編集・発行
石川県立図書館
〒920-0964
金沢市本多町 3-2-15
TEL 076-223-9581
FAX 076-222-2531

図書館で楽しむ１日「もっと知ろう韓国」「図書館ふしぎ発見～図書館を探検しよう～」

5 月 3 日の午後 1 時半より、石川県国際交流員の朴眞美氏をお招きして「石川県子ども読書月間記念事業　もっと知ろう韓国―くらし・遊び・絵本―」と題した催しを行いました。

会場では色鮮やかな民族衣装を身につけた朴眞美氏が、韓国語で昔話の絵本を読んだり、現代の韓国の子どもたちの生活などを紹介したりしました。また色とりどりのおはじきのようなものを使う「コンギノリ」という遊びや、韓国版じゃんけん「カウイ・パウイ・ポ」を実際にやってみると、参加した子どもたちは互いに競い合うように熱心に遊び、韓国についていろいろ質問していました。

その後、図書館職員が館内を案内し、普段立ち入ることができない書庫を見学するツアー「図書館ふしぎ発見～図書館を探検しよう～」を開催。西洋語からの翻訳書として日本初であり、当時の木版技術の高さを伝える『解体新書』（李花亭文庫）や、世界でも大英博物館と本館だけが所蔵する『都会帖』（月明文庫）など、貴重な資料を間近に見た参加者は歓声を上げて見入っていました。

終了後のアンケートでは「蔵書の多いのに大変驚きました」「いつも入れない所にいけてうれしかった」「もう一度、図書館探検をしてほしい」等の感想がよせられ、さまざまな面から図書館に親しむ１日となりました。

資料紹介⑨

石川県指定文化財

寛文七年金沢図（560×501㎝）

寛文７年（1667）成立の、金沢の城下町全体を描いた大型絵図です。縮尺は１間を１分で表した分間図（600 分の 1）で、測量線のような朱線が引かれていることから､測量に基づいて作成されたと考えられます。絵図端には凡例注記があり、万治３年（1660）から寛文７年１０月までに生じた屋敷地の変化の調査をもとに改定した絵図であることがわかります。

万治元年（1658)、前田利常が死去すると、多くの小松在住家臣が金沢に移転し、金沢の武家地で大幅な入れ替えがありました。そのため、万治３年・寛文７年・延宝年間に、３枚の巨大な金沢城下図が藩によって作成されたと考えられています。

延宝年間の金沢図とともに古くから当館に保管されていますが、受け入れられた経緯は不明です。万治３年図は現存していませんので、現存する巨大城下図のうち最古のものとなります。現在、石川県金沢城調査研究所が調査を行い、3653 件の文字情報（うち 1757 件は人名）をデータベース化して、城下町金沢の都市計画を分析しています。平成２２年４月２日、県の文化財に指定されました。(参考『金沢城研究』8 号　2010.3)

4 月 23 日～5 月 22 日は「石川県子ども読書月間」です

「石川県子ども読書月間」は、平成 21 年に設定された本県独自の取り組みです。期間は、4 月 23 日の「子ども読書の日」から 5 月 22 日まで。１ヶ月にわたり、石川県全体で子どもの読書活動推進に努め、読書離れに歯止めをかけることが狙いです。この取り組みに合わせ、県内公共図書館でＰＲポスターのイラスト募集を行ったところ、計 16 名 18 点の応募がありました。最優秀賞には、山本早苗さんの作品が選ばれ、「石川県子ども読書月間」「国民読書年」のＰＲポスターのイラストとなって、県内全域に配布されました。また、優秀賞には内島一夫さん、佳作には柿本爽登さん、西藤高徳さん、澤辺大悟さんの３名が選ばれ、４月 25 日（土)、子ども読書週間記念講演の席上で表彰式が実施されました。今後もいろいろな活動を通じて、子どもに読書の楽しみを届け、図書館に親しんでもらえるよう努めます。

表彰！　レファレンス協同データベースで年間 11117 件参照されました

レファレンス協同データベースとは、国立国会図書館が運営する、レファレンス(利用者の方からのしらべものの相談)の事例集です。全国の公共図書館・大学図書館・専門図書館等もそれぞれの図書館で受けたしらべものの事例を登録しています。当館の登録事例が昨年度１１１１７件参照されたということで、今回表彰を受けました。

レファレンス協同データベースには、一般の皆さんが必要な情報を探したり、図書館員がしらべものをしたりするのに役立つ事例もあります。一般の方でもご利用いただけるので、下の URL をご覧下さい。

http://crd.ndl.go.jp/jp/public/

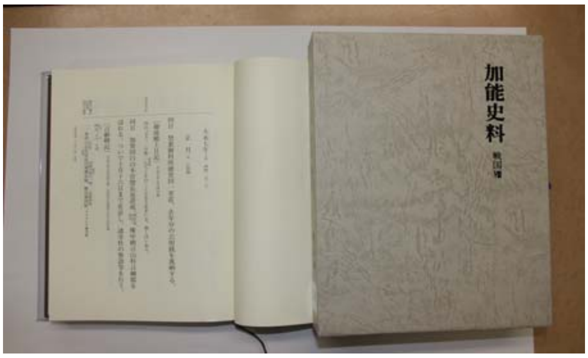
2010 年は「国民読書年」です。

平成 20 年 6 月 6 日、国会で決議が採択されました。図書館でも、様々な取り組みを行います。幸せな本との出会いが生れますように。

加能史料 戦国Ⅷ 刊行

県立図書館の史料編さん室では、『加能史料（かのうしりょう）』という本を編集・刊行しています。

『加能史料』は古代･中世の加賀・能登両国に関する編年史料集です。昭和57年から刊行を続け、この度、第21回配本となる『加能史料　戦国Ⅷ』（A5判・本文368頁・頒価 7,000円）を刊行しました。本巻は、大永7年(1527)より天文3年(1534)までを収録しており、内容の摘要は以下の通りです。



【白山惣長吏澄祝（ちょうしゅく）の上洛と在京】

大永7年、白山本宮惣長吏澄祝が上洛し、約10ヶ月間滞在しました。この期間、親戚である公家の山科言綱（ときつな）・言継（ときつぐ）父子のもとに滞在し、寺社への参詣、公家衆との連歌会に列席、後奈良天皇・将軍足利義晴に拝謁するなど様々な活動を行っています。

【能登守護畠山義総の文芸活動】

当時能登守護であった畠山義総は、公家で当代一流の古典学者である三条西実隆（さんじょうにしさねたか）と交流がありました。この交流の中で、義総が実隆やその子公条（きんえだ）に『源氏物語』などの書写を依頼しています。また、公家の舟橋宣賢（ふなはしのぶかた）が能登に下向した際には、七尾城内の自亭に招いて漢籍の『蒙求（もうぎゅう）』の講義を受けています。

【公家衆の加賀下向】

戦国時代中期のこの頃、公家の経済的基盤である家領（荘園）を直接管理するため、多くの公家衆が加賀国に下向・滞在しました。

【享禄の錯乱（きょうろくのさくらん）】

享禄4年(1531)、加賀一向一揆の主導権をめぐって、賀州三カ寺（本泉寺・松岡寺（しょうこうじ）・光教寺）と越前から亡命していた超勝寺（ちょうしょうじ）が抗争し、本願寺の支援を得た超勝寺が勝利を得ました。加賀・能登・越前の守護勢力をも巻き込んだ、この政変の史料を網羅しました。

〈お問合せ〉史料編さん室 076-223-9579

講座『加能史料』はいま開催

６月６日（日）午後２時より、平成22年度第１回講座「『加能史料』はいま」を開催しました。この講演は、みなさんに、古代・中世の加賀・能登の歴史像について理解を深めていただき、『加能史料』の魅力を広く知っていただくことを目的に毎年開催しています。

今年度の第１回にあたる今回は、『加能史料　戦国Ⅷ』を担当した石田文一（当館職員）が「白山長吏澄祝とその時代」、加能史料編纂委員の木越祐馨（きごしゆうけい）氏が「加賀一向一揆と享禄の錯乱」と題し、『加能史料　戦国Ⅷ』に収録された史料について、楽しく・わかりやすく講演しました。

木越氏は講演の中で、編纂の際のエピソードを交えながら、加賀の本願寺教団の内部抗争である享禄の錯乱の原因について、「本願寺下知之悪（ほんがんじげちのあく）」を取りあげ、錯乱の理解には賀州三カ寺・超勝寺のほかにも在地の長衆（おとなしゅう）の「地下（じげ）の力」にも着目すべきと述べられました。

講師の木越先生と受講生のみなさん

当日は102名のみなさんにご参加いただきました。第２回の講座は、秋に予定しております。たくさんのご参加をお待ちしております。

【行事案内】

当館HPでもご覧いただけます。
(http:www.library.pref.ishikawa.lg.jp/)

おしゃべりサロン

お気軽にご参加ください！

土曜日　午後 13 時 30 分～

・6 月 12 日　殿村　徳久 氏（殿村スポーツ創作室主催）
「発案スポーツを語る
－ボトルボール、ピラミボールなど創作スポーツを紹介－」
・7 月 24 日　高村　武 氏
（日本報道写真連盟、金沢和紙文化交流会）
「趣味が広がる　生涯学習」
・8 月 7 日　泊　遊歩 氏（春郁水墨画会）
「楽しいよ！水墨画」
・8 月 21 日　松橋　文幸 氏（おはなしたんぽぽ代表）
「物語を聴く会　-おはなしタンポポのひととき-」
・9 月 18 日　当館職員　杉井　亜希子、林　佳奈
「新米パパのための読み聞かせ講座
-ママとベビーに笑顔のプレゼント-」
・9 月 25 日　山本　紀子 氏（いしかわ生涯学習講師の会）
「コラージュ作って楽しくおしゃべりしませんか」
・10 月 9 日　浅井　貞子 氏（高砂語り部九官鳥の会）
「蘇る古文へのいざない」
・10 月 23 日　池田　良治 氏
「江戸川乱歩を語ろう」
・10 月 30 日　金沢おはなしの会
「語りで楽しむ“グリムの昔話”」
問合先：総務グループ　(Tel　076-223-9565)

読書アドバイザー養成講座

★6 月 19 日（土）講義、館内見学　金沢能楽美術館
講　師：藤島　秀隆 氏（金沢能楽美術館長）
★6 月 27 日（土）講　義
「小説をよむこと書くこと」講師：寺本　親平 氏
（文芸同人誌「彩雲」編集同人、薩摩琵琶演奏家）
★7 月 3 日（土）講　義
「郷土の詩人　濱口國雄の詩の真髄」
講　師：井崎　外枝子 氏
（詩誌「笛」同人、金沢文芸館「詩講座」講師）
時　間：午後 1 時 30 分～3 時 30 分
会　場：金沢能楽美術館、石川県立図書館
対　象：一般（1 日のみの受講もできます）
申込・問合先：企画協力グループ
(Tel　076-223-9581)

第 2 回　図書館を楽しもう　とび出す絵本をつくろう

★7 月 31 日（土）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
講　師：金沢手づくり絵本の会
会　場：石川県立図書館
対　象：小学生（30 名）
申込・問合先：子どもの本のひろば
(Tel　076-223-9587)

おはなしの夕べ

★8 月 4 日（水）～6 日（金）午後 7 時～8 時
語り手：県内の語り手、当館職員
会　場：石川県立図書館
対　象：幼児（4 歳程度）～ 一般
申込・問合先：子どもの本のひろば
(Tel　076-223-9587)

いま図書館がおもしろい！～図書館活用術を探る～「子どもと本をむすぶブックトーク」

★9 月 10 日（金）午前 11 時～15 時 30 分
講　師：張替　惠子 氏（（財）東京子ども図書館理事）
会　場：石川県青少年総合研修センター
対　象：図書館職員、一般
申込・問合先：企画協力グループ
(Tel　076-223-9581)

ミュージアムウィーク協賛事業「高齢者のためのインターネット入門」

★10 月 1 日（金）午前 10 時 30 分～11 時 30 分
講　師：当館職員（電算担当）
会　場：石川県立図書館
対　象：一般
申込・問合先：企画協力グループ
(Tel　076-223-9581)

今後の展示予定（6 月～10 月）

★6 月 1 日（火）～6 月 29 日（火）
「九谷焼の本～徳田八十吉の世界」
7 月 1 日（木）～7 月 29 日（金）
「一向一揆」
7 月 31 日（日）～8 月 31 日（火）
「ヤングアダルト」
9 月 12 日（日）～10 月 28 日（木）
「江戸川乱歩」
会　場：石川県立図書館
問合先：代表連絡先（Tel　076-223-9565）